



希望の宝

不妊治療への保険適用などを盛り込んだ、全世代型社会保障改革が閣議



西谷 高弘 議員

## 不妊治療、ペア検査助成拡充をすべき 助成事業の予算措置をしました



決定した。具体的には、今年1月1日以降に終了した治療を対象に、夫婦合計で730万円未満との所得制限を撤廃して、助成額も、1回15万円までから1回30万円までに増額になり、事実婚のカップルも対象に加わった。香美町特定不妊治療

は治療費の一部を助成しているが、不妊治療、ペア検査について助成できないか。  
**町長** 本町においても令和3年4月1日から1回あたりの助成額を10万円から15万円に引き上げ、さらに特定不妊治療

に係る個人負担の軽減を図るとともに、新たに一般不妊治療助成事業では、不妊検査及び特定不妊治療以外の方法による不妊治療を考えており、不妊治療ペア検査にも対応はできると考えています。



給水が止まった射添浄水場



岸本 正人 議員

## 防災対策は最悪を想定して対応を 議会と相談して、対策は取りま



昨年12月16日・17日の大雪による、停電、断水、通行不能等があった。特に村岡・小代区は約2日間連続していた。対策は十分であったのか。危機対策は、最悪を想定して

において、それ以下では良いとの対応を取るべきである。議会開会中であつたが議会軽視ではなく、両地域局長、防災課長等は「災害」に専念させる体制を取るべきであつた。議会と相談すべきであつたと私は思うが、町長に伺う。  
**町長** 議長に相談しなかつたのは、私は特段、両地域局長は、自分達が

本庁に出てきている間の両地域局での住民対応が、議会に出席しているからと連絡はしていたと思ひます。ただ夕方には帰れたらそれで良いとの現場の判断もあつたと思ひます。そのときに地域局長2人がいなかったことで、被害が増幅したとか、住民対応ができなかつた、ということはないと思ひしております。